

## 「アスペルギルス抗原」判定基準変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、標記検査項目の測定試薬添付文書改訂に伴いまして、判定基準の変更をさせていただくことになりました。判定基準を引き下げることで侵襲性アスペルギルス症に対する感度が現行の 81.6%から 97.4%に向上し早期診断・早期治療が可能となることが期待されます。また、判定基準の変更により感度は向上しますが、特異度は現行の 96.5%から 90.5%に低下します。このため侵襲性アスペルギルス症の診断には、本検査結果だけでなく臨床症状及び画像診断、培養検査等の結果を基に総合的な判断をお願い致します。

なお、変更は判定基準のみで、測定試薬・提出方法等の変更はございません。

誠に勝手ではございますが、弊社事情ご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬 具

2007 年 1 月

### 検査内容変更項目

## アスペルギルス抗原

実施期日:2007 年 1 月 31 日(水)受付分より

### 変更内容

変更箇所	新	現 行
判定基準	(Index) 0.5 未満:陰性	(Index) 1.0 未満:陰性